

5/13 篠原先生

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知る	天野政幸代先生	5月13日(火)	
学生番号	学部・学科	学年	氏名
07080078-2	医学部 医学科	1年	福岡 香

私は、講義の最初のスライドで見た、青白く光るIBMの文字が目に見えついていました。Ni表面にキセノン原子を一粒ずつ並べて描かれたものだそうです。物質をどんどん分割していき、これを以上分けられない最小のものを原子という、ということはいまの中ではわかっていないものの、実際に目にしたことにはなからたので、とても新鮮で、原子を思いどおりに操作できる現在の技術に驚かずにはいられませんでした。また、カーボンナノチューブの話は大変興味深かったです。レーザーをあけると表面が1万度になり、グラファイトが昇華し、カーボンの分子の質量をはかってみたところ 720 g/mole のものが多く、 C_{60} の存在がわかったにそうです。実は私は 科学者、研究者というと暗い研究室で器具片手に一心不乱に実験をするイメージを持っていました。しかし篠原先生のお話を聞いて、研究への憧れが増しました。セレンディピティという言葉がでてきて、そこから新しく何かを学びとる偶然の出会いを大切にしていこううちに思いもよらずな発見にたどり着く、その発見の中に研究の面白さ、学問の面白さはあるのではないかと感じました。私は大学1年で時間に余裕があるので、色々なことに挑戦してみたいと思います。そして教養科目、専門科目共にしっかりと学んで、知識を身につけて将来につなげていきたいと思っています。